

証券コード 7594

2017年11月期

決算説明会

2018年1月24日

日米中亞4極体制

グローバルバージョンII

新たな幕開け

変革の刻

ASIA

CHINA

the Americas

JAPAN

MARUKA

目次

1.	2017年11月期決算の概要		
	① 2017年11月期決算	4
	② 産業機械部門の業績	15
	③ 建設機械部門の業績	20
2.	中期経営計画の進捗及び2018年11月期業績予想		
	① 中期経営計画の数値目標及び進捗	24
	② 2018年11月期業績予想	25
	③ 産業機械・グローバル機材部門の営業戦略	27
	④ 建設機械部門の営業戦略	30
3.	配当政策		
	配当方針及び配当金の推移	33
	(補足資料)		
	会社の概要	35

2017年11月期 決算の概要

(2016年12月1日～2017年11月30日)

17/11期決算の要点

売上高は前期比9.8%増の523億円となり、上場来最高記録を更新
経常利益は、主力の産業機械の回復による売上総利益の増加及び為替差益の影響等により、前期比22.5%増
当期純利益は、前期比32.9%増

産業機械部門は、自動車関連業界向けが好調
建設機械部門は、下期売上が回復

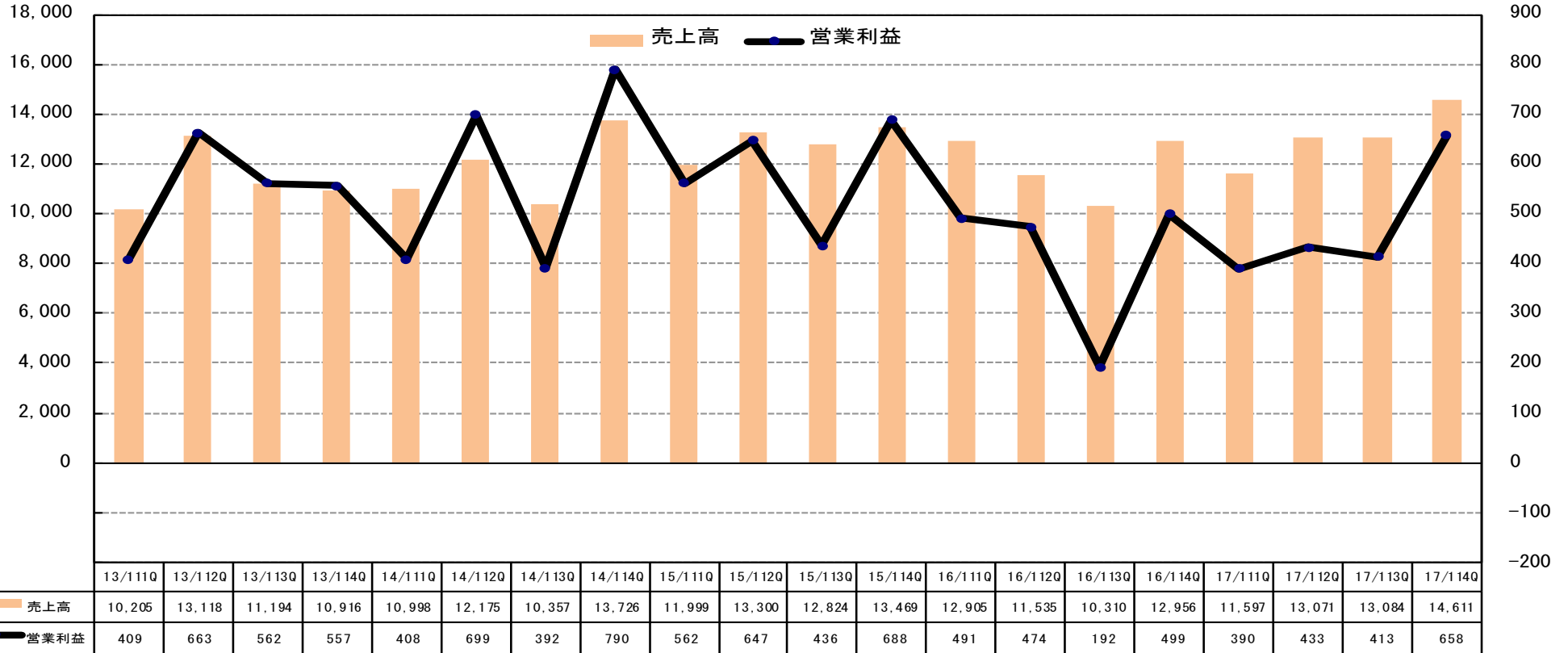
海外売上は東南アジア向けが回復。中国市場は若干の回復
海外売上高比率は前期の49.0%から49.5%に上昇

商品別では工作機械が好調を維持
鍛圧機械が大きく伸長

四半期業績の推移

売上高: 百万円

営業利益: 百万円



単位: 百万円

	13/11期		14/11期		15/11期		16/11期		17/11期	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	23,323	22,111	23,173	24,083	25,299	26,293	24,441	23,266	24,668	27,694
営業利益	1,072	1,120	1,107	1,182	1,209	1,124	965	691	823	1,071

17/11期決算の概要

■ ほぼ計画通り、産業機械、建設機械ともに増収を確保し、二期ぶりの増収増益

■ 前期の為替差損が解消。為替安定により経常利益は増益

単位：百万円

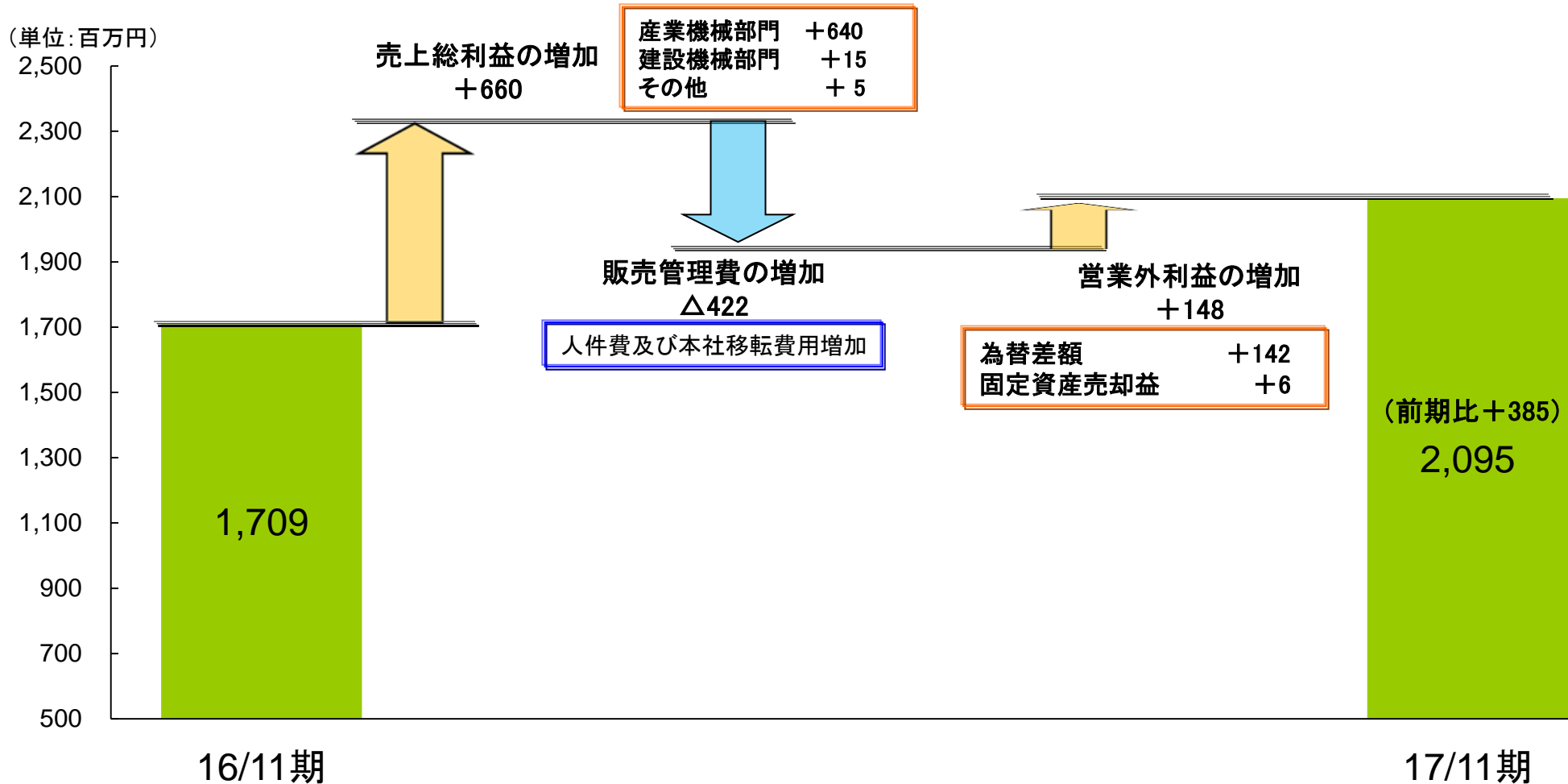
	16/11期		17/11期		前期比 (%)	期初計画 期初	同計画比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
売上高	47,708	100.0	52,363	100.0	9.8	52,000	0.7
産業機械	39,202	82.2	43,231	82.6	10.3	43,585	△ 0.8
内、グローバル機材	9,120	19.1	8,720	16.7	△ 4.4	9,500	△ 8.2
建設機械	8,403	17.6	9,026	17.2	7.4	8,350	8.1
その他	102	0.2	106	0.2	3.9	65	63.3
売上総利益	6,913	14.5	7,579	14.5	9.5	7,450	1.7
販売管理費	5,260	11.0	5,682	10.9	8.0	5,650	0.6
営業利益	1,657	3.5	1,894	3.6	14.3	1,800	5.3
経常利益	1,709	3.6	2,095	4.0	22.5	1,970	6.4
親会社株主に帰属する当期純利益	929	1.9	1,235	2.4	32.9	1,250	△ 1.2
1株当たり当期純利益	105.96円	—	144.31円	—	36.2	144.66円	

ROE	5.1%	—	6.6%	—	1.7pt	—	—
ROA	2.4%	—	3.1%	—	0.7pt	—	—
人員	565人	—	596人	—	+31人	—	—

注) 人員の増加は、主にマルカ・アメリカのサービス人員増員

経常利益増減要因

- 売上総利益は産業機械部門の貢献で大幅増
- 販売管理費の増加もあるが、前期の為替差損も解消し、経常増益



販売管理費の内訳(連結)

人員増による人件費増加、本社移転に伴う関連費用の発生

単位: 百万円

	16/11期	17/11期	増減額	主な要因
人件費	3,131	3,272	140	主に米州における人員増
旅費・交通費	567	607	39	主に本社移転に伴う経費増
営繕、備品費	76	98	22	同 上
租税公課	119	154	34	主に新本社ビル取得による影響
減価償却費	74	109	34	主に新本社ビル償却費
その他	1,290	1,441	151	役員株式給付引当金繰入額24百万円増加
合計	5,260	5,682	422	

17/11期末連結貸借対照表

マルカ新本社ビル取得により有形固定資産が増加
有利子負債は、主に子会社(マルカアメリカ、マルカ上海、管製作所)の運転資金の借り入れ

単位:百万円

資産			
	16/11末	17/11末	備考
現金預金	9,285	8,168	
売上債権	15,200	18,224	
その他流動資産	5,431	6,434	
有形固定資産	5,300	6,505	マルカ新本社ビル取得
無形固定資産	462	435	
その他固定資産	1,640	1,763	
総資産	37,321	41,531	

負債			
	16/11末	17/11末	備考
仕入債務	15,065	16,800	
短期有利子負債	363	674	マルカアメリカ マルカ上海借入金
その他流動負債	2,370	3,209	
長期有利子負債	381	327	管製作所借入金
その他固定負債	548	657	
負債	18,640	21,670	
純資産	18,681	19,861	剰余金の配当(△339 百万円)、当期純利益 の計上(1,235百万円)

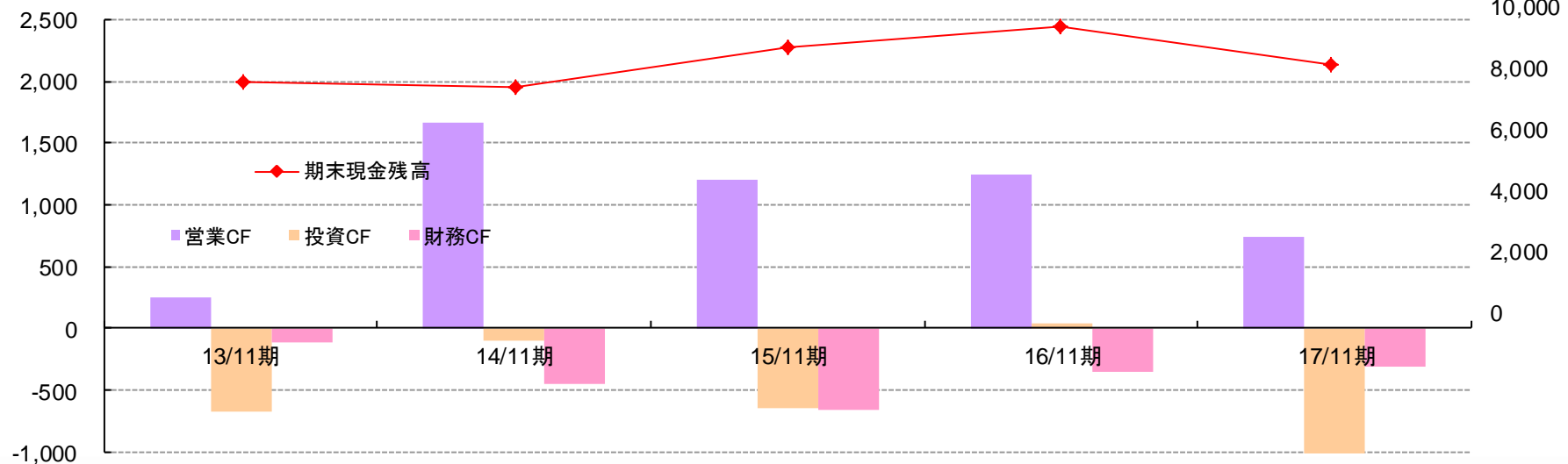
連結キャッシュフローの推移

単位:百万円

	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期
営業活動によるCF	248	1,662	1,206	1,246	743
投資活動によるCF	△672	△108	△647	46	△1,671
フリーCF	△424	1,554	559	1,292	△928
財務活動によるCF	△120	△446	△662	△356	△316
期末現金残高	7,401	8,680	8,723	9,398	8,144
設備投資額	428	297	570	840	2,261
減価償却費	194	258	210	252	309

CF(単位:百万円)

期末現金残高(単位:百万円)



連結子会社の業績

国内は管製作所が好調

海外はマルカ・エクスポートタイ、マルカ・ベトナムが大幅増益

単位:百万円

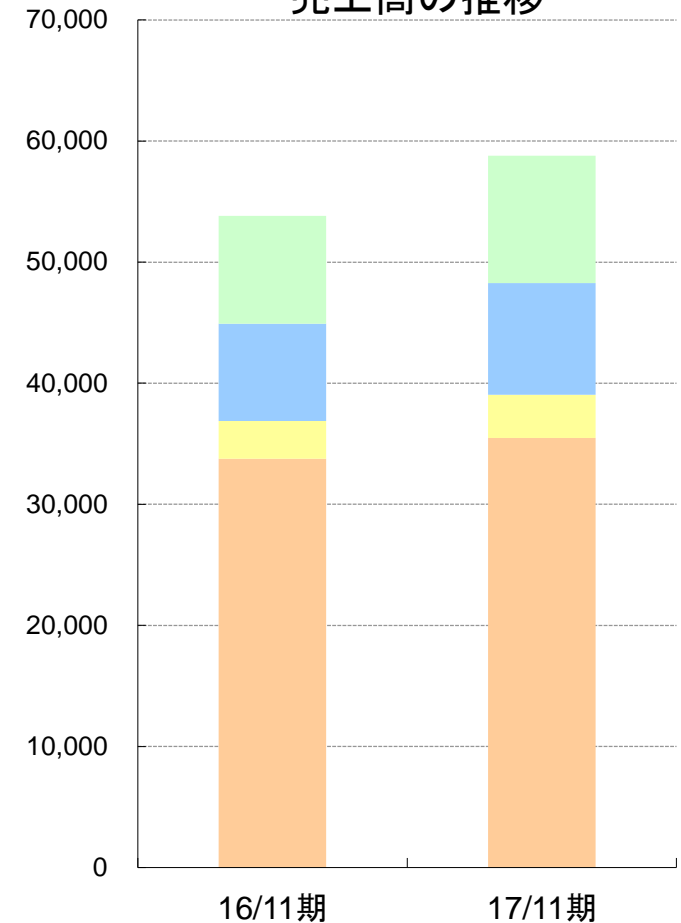
	売上高		営業利益		経常利益	
	16/11期	17/11期	16/11期	17/11期	16/11期	17/11期
連結	47,708	52,363	1,657	1,894	1,709	2,095
単体	33,756	35,482	1,361	1,289	1,567	1,621
国内子会社	3,132	3,565	46	258	97	292
海外子会社	16,926	19,734	207	314	167	320
連結消去	△ 6,107	△ 6,418	40	31	△ 124	△ 138

売上高の前期対比

マルカキカイ単体	国内子会社	米州子会社	アジア子会社
➡	➡	➡	➡

単位:百万円

売上高の推移



■ 本体 ■ 国内子会社
■ 米州子会社 ■ アジア子会社

(株)管製作所 新社屋及び新工場が竣工

～2017年4月 新社屋及び工場の建設が完了～

新住所

山形県天童市荒谷堂ノ前1000番28

竣工日

2017年4月28日

《建物外観》



《組立棟/加工棟》

従来の2倍のスペースを確保し、大きなライン物や大型洗浄機にも対応可能



《洗浄機ショールーム》

専用のショールームを設け、低圧から高圧まで幅広くテスト洗浄が可能



マルカキカイ本社移転

～2017年8月 新本社に移転～

新住所

大阪府中央区南新町2丁目2番5号

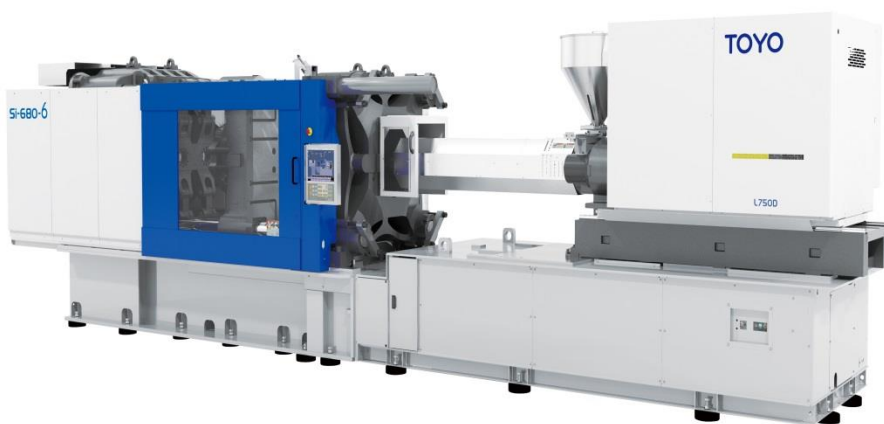
移転の目的

1. 営業の効率化
2. 入居ビルの耐震性を強化し企業の継続性を確保
3. 新規学卒者採用環境変化への対応

《建物外観》



産業機械部門



産業機械部門売上高推移(連結)

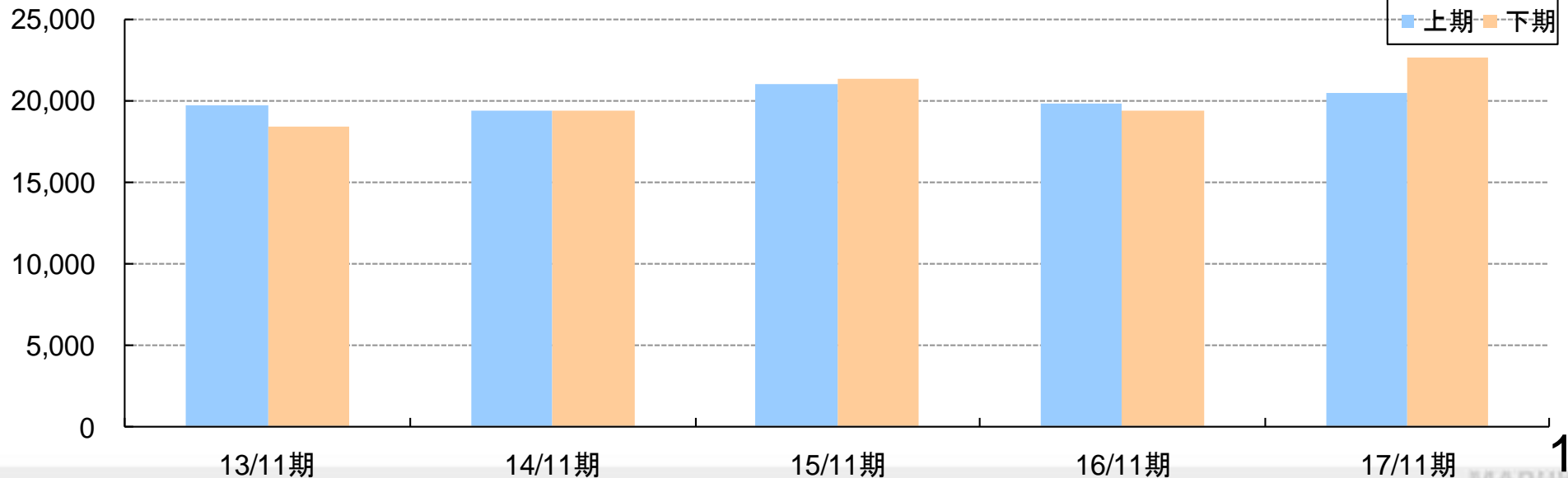


下期に増収基調が強まり、15/11期を上回る水準

単位:百万円

	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	前年同期比(%)
上期	19,804	19,460	21,104	19,824	20,483	3.3
下期	18,428	19,384	21,379	19,378	22,748	17.4
合計	38,233	38,844	42,483	39,202	43,231	10.3

単位:百万円

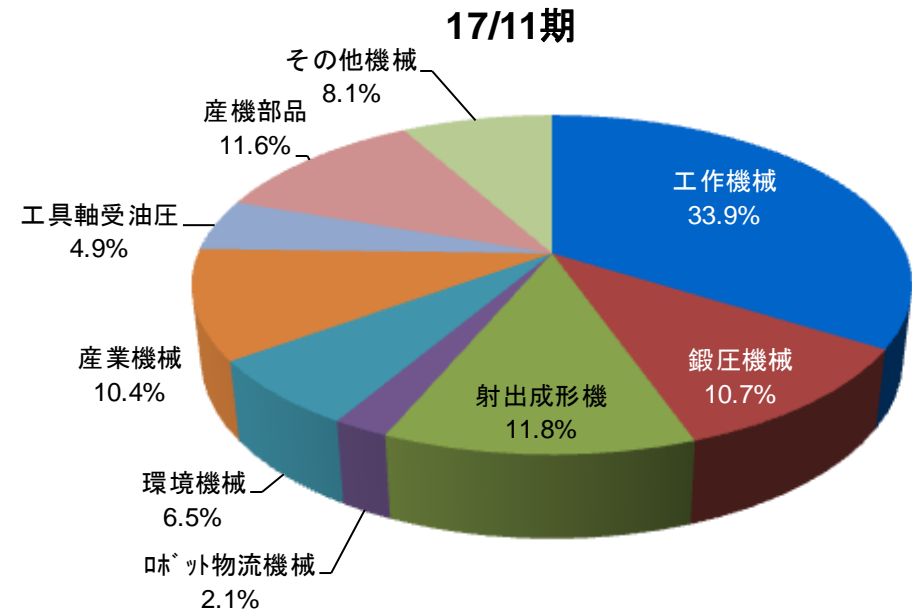
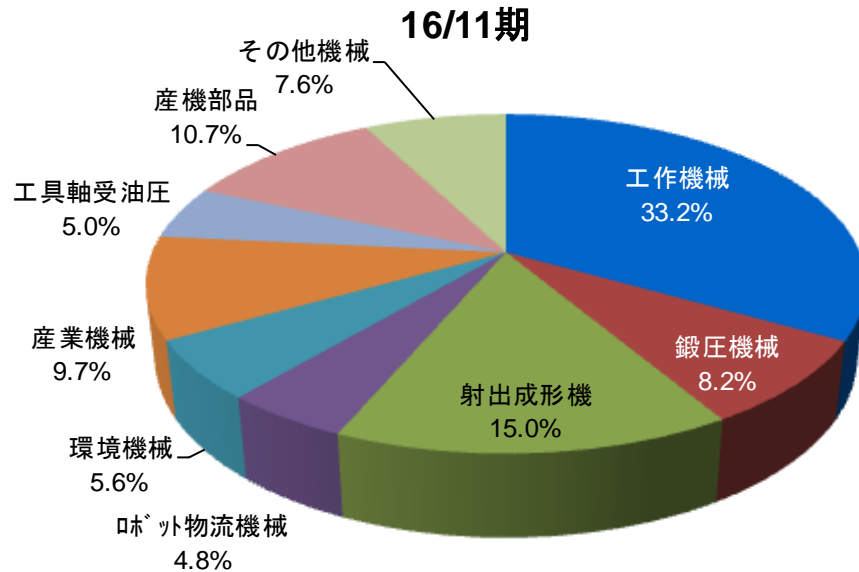


産業機械部門 — 商品別売上高

主力の工作機械が好調。鍛圧機械、産業機械、産機部品も二桁増収
 ロボットは前期の大口販売が剥落し減少

単位：百万円

	産業機械計									
	工作機械	鍛圧機械	射出成形機	ロボット 物流機械	環境機械	産業機械	工具軸受 油圧	産機部品	その他 機械	
16/11期	39,202	3,208	5,895	1,877	2,198	3,810	1,979	4,211	2,997	
17/11期	43,231	4,633	5,093	924	2,805	4,501	2,122	5,005	3,497	
前期比(%)	10.3	44.4	△ 13.6	△ 50.7	27.6	18.1	7.2	18.9	16.7	



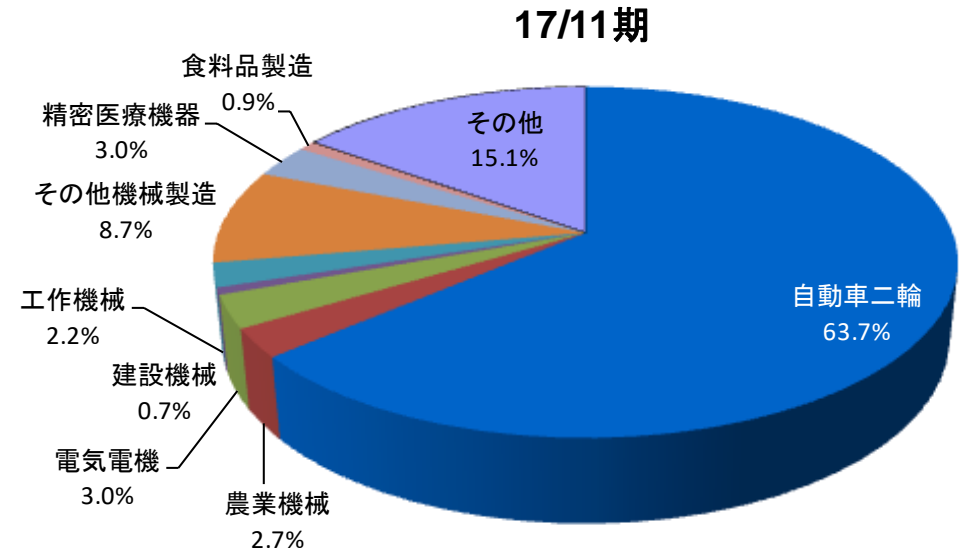
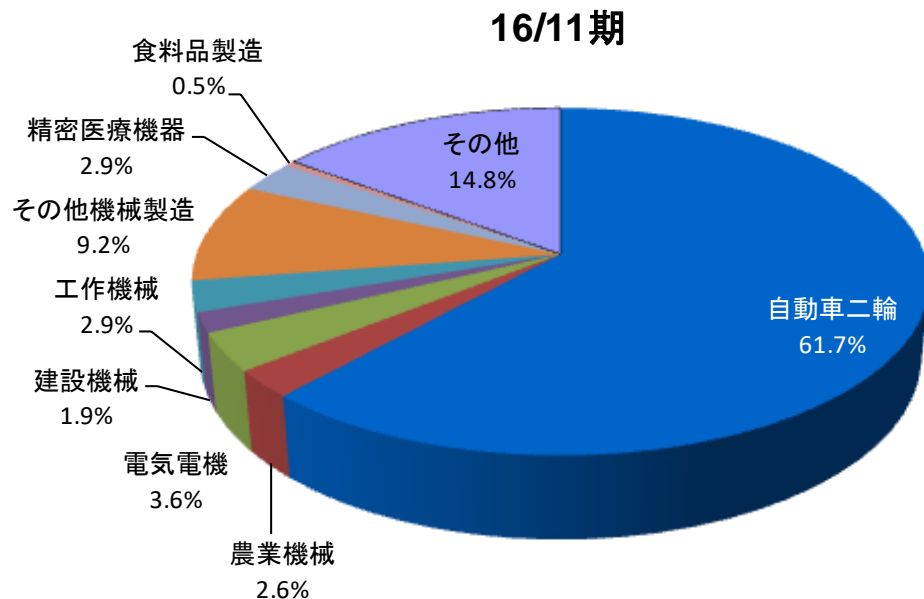
※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

産業機械部門 — 業界別売上高

自動車業界向けが堅調。販売強化中の食料品業界向けは微増

単位:百万円

産業機械計										
		自動車 二輪	農業機械	電気電機	建設機械	工作機械	その他 機械製造	精密医療 機器	食料品 製造	その他
16/11期	39,202	24,202	1,009	1,392	729	1,118	3,595	1,134	211	5,808
17/11期	43,231	27,554	1,151	1,305	284	950	3,751	1,305	392	6,534
前期比(%)	10.3	13.8	14.1	△ 6.2	△ 61.0	△ 15.1	4.3	15.1	85.8	12.5

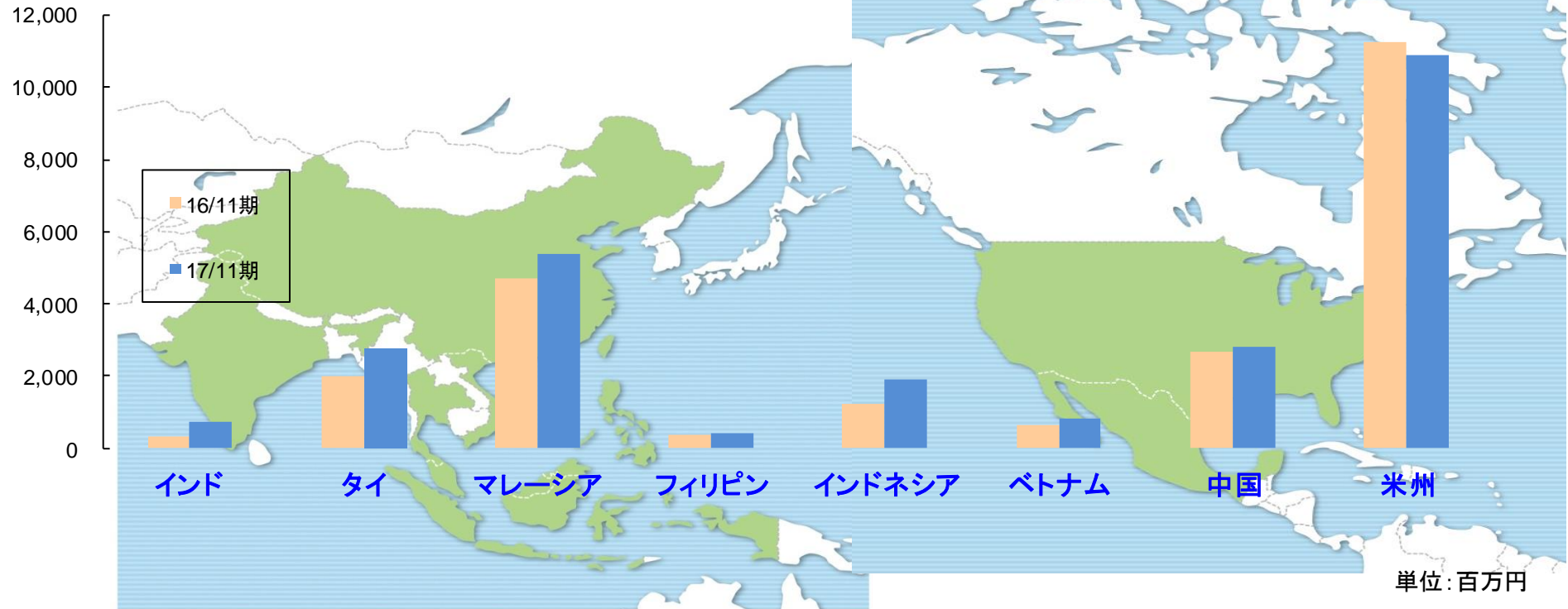


※ グラフ内「%」は産業機械部門の売上高に対する比率

産業機械部門 — 地域別海外売上高



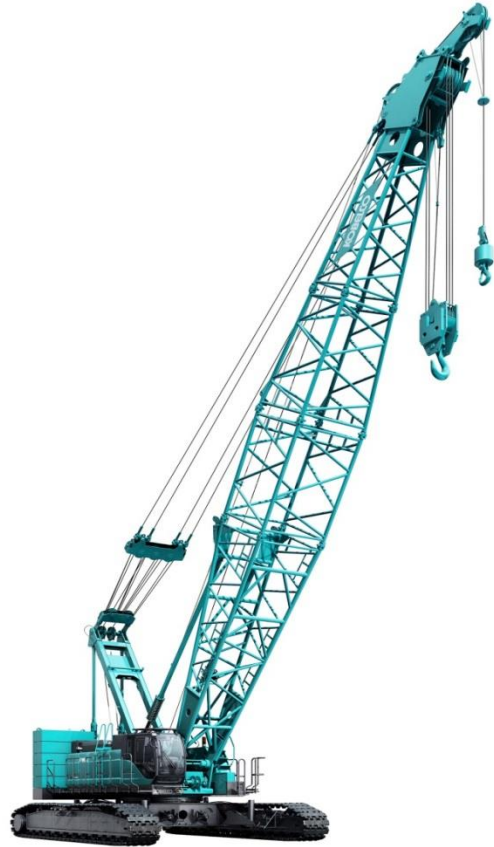
単位: 百万円



単位: 百万円

拠点	インド	タイ	マレーシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム	中国	米州	その他	海外計
16/11期	326	1,995	4,725	372	1,225	630	2,679	11,279	3	23,240
17/11期	730	2,770	5,403	406	1,900	833	2,829	10,916	17	25,808
前期比(%)	124.0	38.8	14.4	9.3	55.0	32.1	5.6	△ 3.2	357.6	11.1

建設機械部門



建設機械部門売上高推移

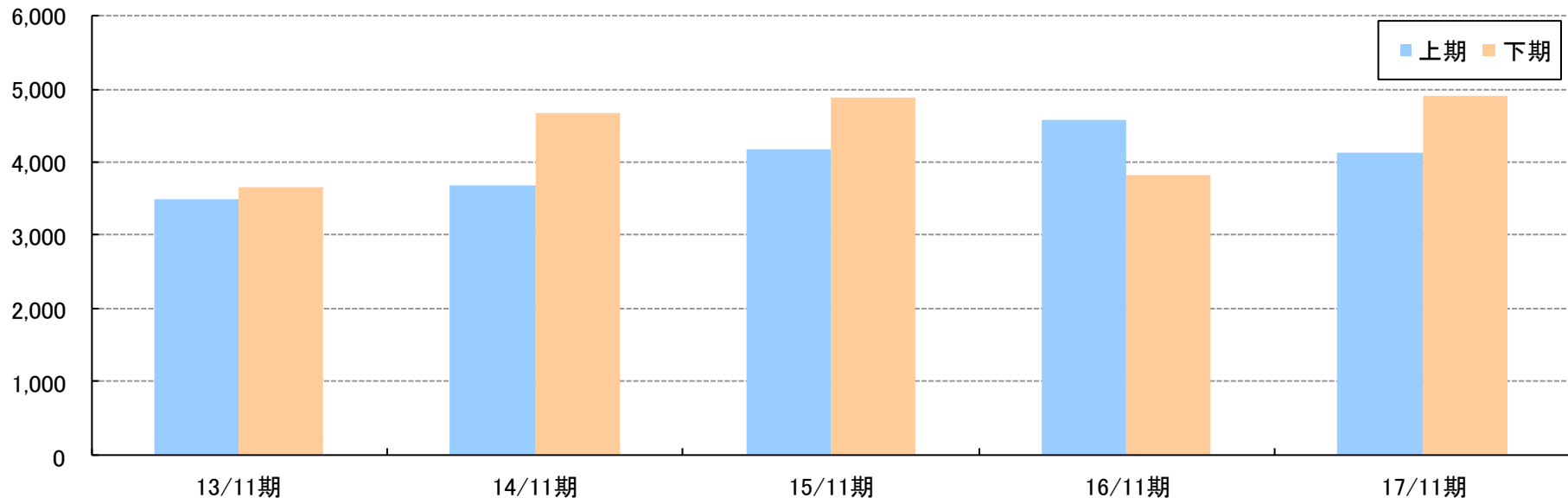


上期苦戦したが下期回復が鮮明に

単位:百万円

	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	前年同期比
上期	3,496	3,689	4,165	4,573	4,124	△ 9.8
下期	3,650	4,666	4,878	3,829	4,902	28.0
合計	7,147	8,355	9,043	8,403	9,026	7.4

単位:百万円



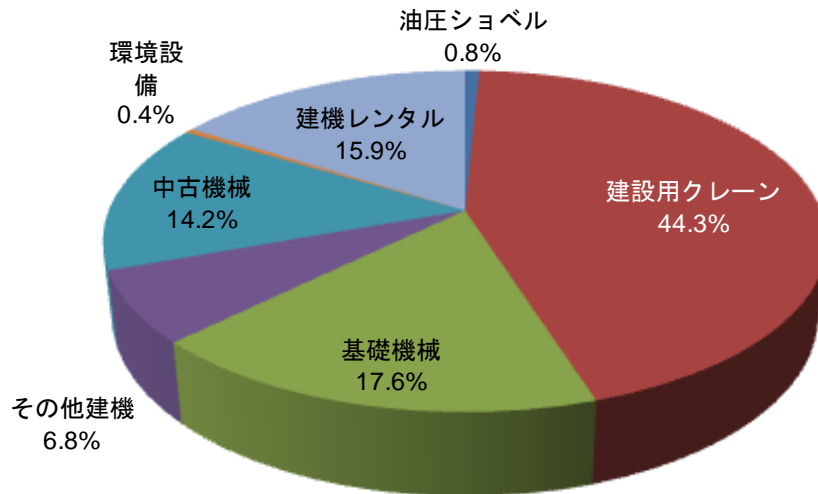
建設機械部門 — 商品別売上高

基礎機械が大幅増、レンタル売上も好調。主カクレーンは下期後半回復基調に

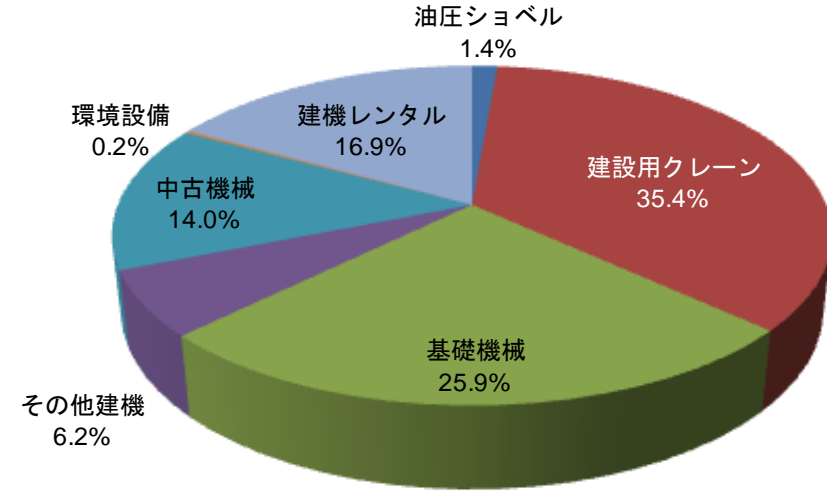
単位：百万円

	建設機械計							
	油圧 ショベル	建設用 クレーン	基礎機械	その他 建機	中古機械	環境設備	建機 レンタル	
16/11期	8,403	63	3,723	1,479	570	1,191	35	1,339
17/11期	9,026	122	3,195	2,341	561	1,262	20	1,522
前期比(%)	7.4	92.7	△ 14.2	58.2	△ 1.6	5.9	△ 41.3	13.7

16/11期



17/11期



※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

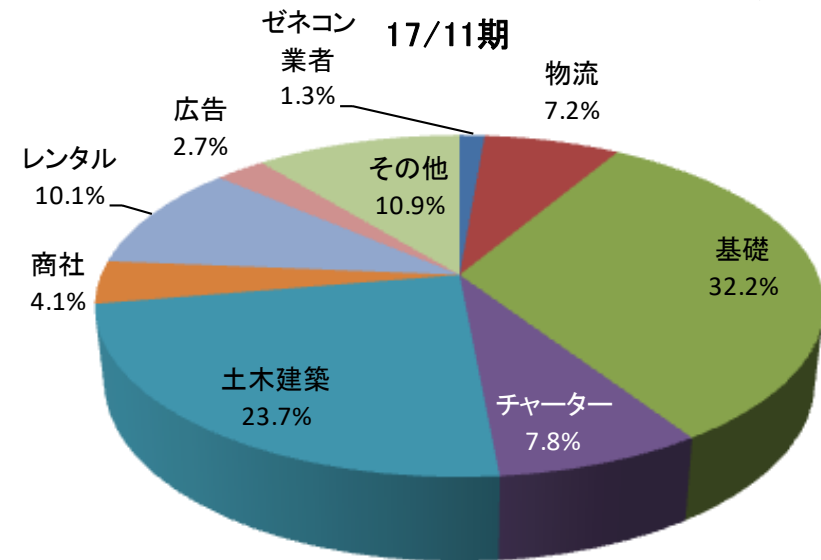
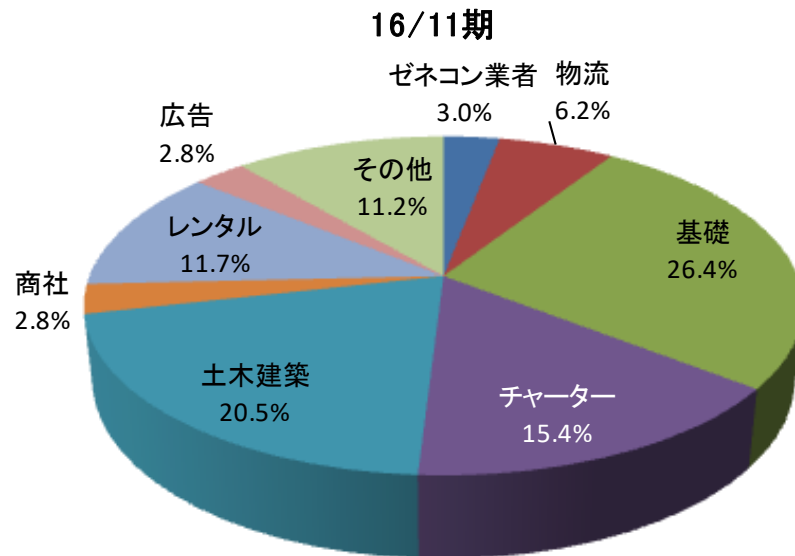
建設機械部門 — 業界別売上高

基礎、土木建築向けが増加

単位：百万円

	建設機械計									
	ゼネコン業者	物流	基礎	チャーター※	土木建築	商社(輸出)	レンタル	広告	その他	
16/11期	8,403	250	519	2,215	1,295	1,720	236	985	234	944
17/11期	9,026	115	624	2,795	676	2,060	352	878	230	1,290
前期比(%)	7.4	△ 53.9	20.2	26.2	△ 47.7	19.8	48.6	△ 10.8	△ 1.7	36.6

※チャーター＝オペレーター付きで、クレーンの吊上げ作業等を請け負う工事業者

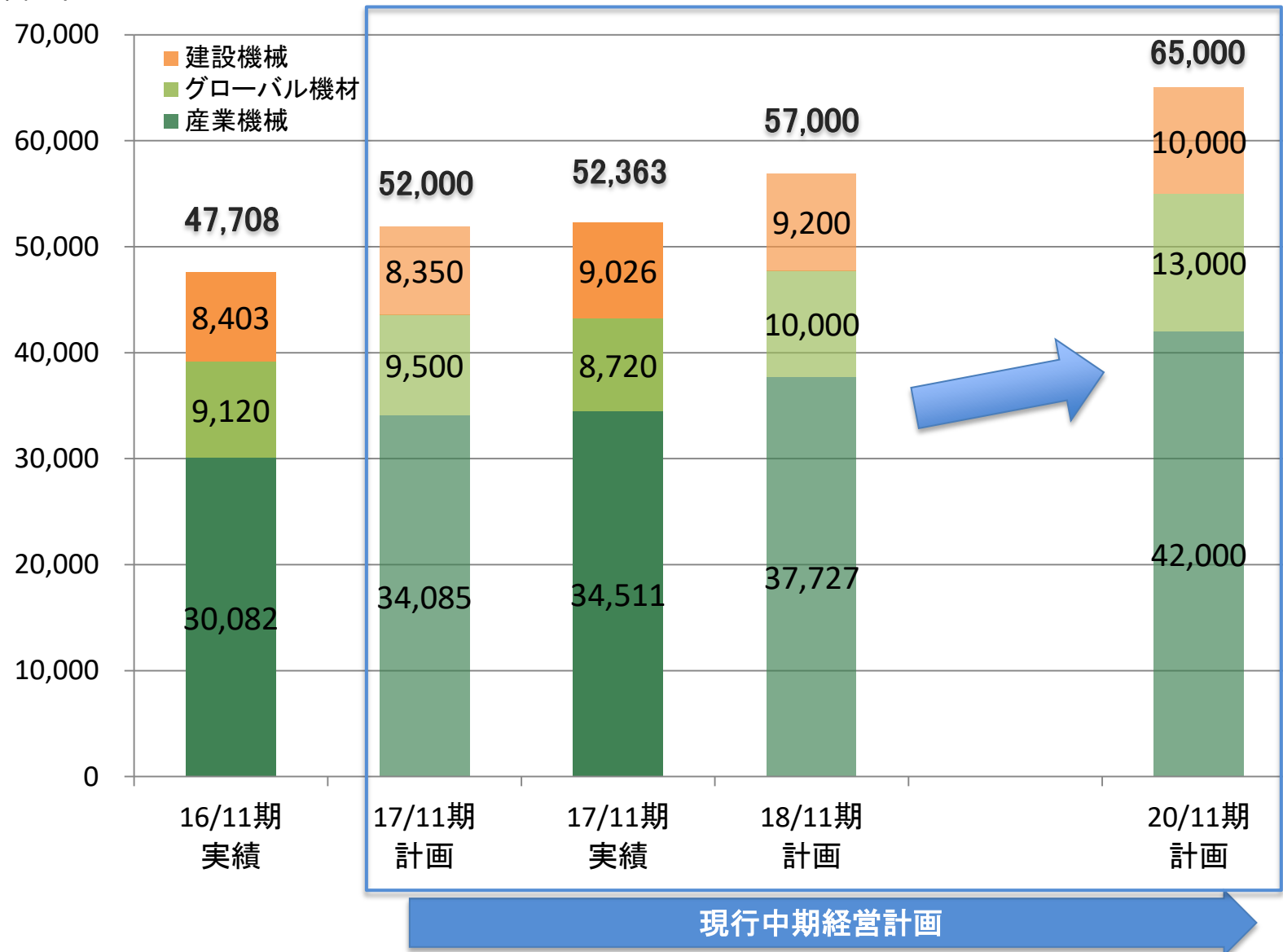


※ グラフ内「%」は建設機械部門の売上高に対する比率

中期経営計画の進捗 及び 2018年11月期業績予想

中期経営計画(売上高)の数値目標及び進捗

単位:百万円



18/11期業績予想

中期経営計画2年目。更なる飛躍を目指す

単位：百万円

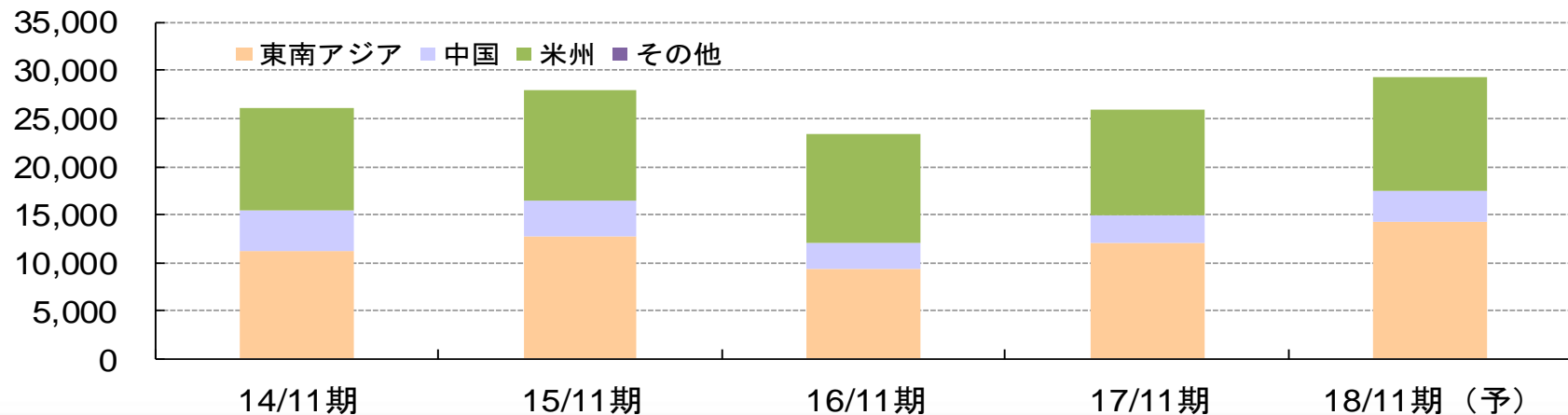
	17/11期	18/11期予想			前期比 (%)
		上期	下期	通期	
売上高	52,363	28,000	29,000	57,000	8.9
産業機械	43,231	23,471	24,256	47,727	10.4
内、グローバル機材	8,720	4,900	5,100	10,000	14.7
建設機械	9,026	4,500	4,700	9,200	1.9
その他	106	29	44	73	△ 31.2
売上総利益	7,579	3,960	4,220	8,180	7.9
販売管理費	5,682	2,910	3,070	5,980	5.2
営業利益	1,894	1,050	1,150	2,200	16.1
経常利益	2,095	1,140	1,260	2,400	14.5
親会社に帰属する当期純利益	1,235	740	760	1,500	21.4
1株当たり当期純利益	144.31円	86.64円	88.99円	175.63円	—
期末(想定)為替レート米ドル/円	112円07銭	—	—	110円00銭	—
1株当たり配当金	40円	19円	23円	42円	—

海外売上高の推移

単位:百万円

	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期予想
米州	10,612	11,528	11,279	10,916	12,000
中国	4,191	3,806	2,680	2,840	3,200
東南アジア(含むインド)	11,293	12,680	9,393	12,153	14,200
その他	70	276	4	0	0
海外売上合計	26,167	28,292	23,357	25,910	29,400
海外売上高比率(%)	55.4	54.8	49.0	49.5	51.6
期末為替レート	118円23銭	122円82銭	112円42銭	112円07銭	110円00銭

単位:百万円



18/11期の営業戦略(産業機械・グローバル機材部門)

～米 州～

【事業環境】

北米市場では自動車、航空機、医療関連の製造業の設備投資は堅調に推移すると予想

▽北米における工作機械販売テリトリーの拡大

- ・前期の北米における工作機械の売上高は、自動車業界を中心に38億円(前期比67%増)

▽エンジニアリング機能を発揮。ITI社、管製作所製品の積極投入

- ・ITI社は治具等の受注が好調に推移し、前期売上高は7.8億円(前期比70%増)
- ・管製作所製品については、販売促進策の推進中、今期目標10台

▽北米(シンシナティ)の日系企業向け販売の更なる拡大とともに米系現地企業の開拓を推進

▽北米市場における東洋機械金属製電動射出成形機の需要増への対応

- ・前期北米電動機シェア9.6%
- ・前期販売台数は153台の実績、今期目標180台

▽Fu-Chun-Shin製(台湾射出成形機メーカー)製油圧式プラスチック成形機のシェアアップ

- ・前期販売台数は21台の実績、今期目標40台

18/11期の営業戦略(産業機械・グローバル機材部門)

～東南アジア～

【事業環境】

タイ、インドネシア市場が底を脱し、回復基調

日系自動車向け設備、部品消耗品などの現地調達の推進を図る。今期は前期比17%を予想
(注力業界・商品)

- タイ・マレーシア = 前期はマルカ・エクスポート・タイにおいて、新車種生産開始に伴う自動車部品売上が大幅増
食料品製造関連売上は2億円
- インドネシア = 前期の自動車二輪業界向け売上高は93%増の約18億円
- ベトナム = 前期はプレス修理等によるサービス売上が大幅増。さらなるサービス体制の強化を図る
- フィリピン = 主力商品である射出成型機の前期売上が41%増の2億円
- インド = 前期は大型プロジェクト案件により鍛圧機械の売上が大幅増

～中国～

【事業環境】

中国市場は設備需要を背景に好況と予想

▽前期は工作機械売上が減少も、鍛圧機械、環境設備等の売上でカバーし、全体では売上13%増
▽今期は、従来の日系企業ユーザー中心から現地企業ユーザーへ転換を図る

売上高	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期予想
中国製機械	9.0億円	13.0億円	18.0億円	16.0億円	13.3億円	10.4億円	8.3億円	10.0億円
台湾製機械	7.3億円	6.8億円	8.3億円	8.0億円	4.4億円	2.1億円	3.9億円	3.0億円

18/11期の営業戦略(産業機械・グローバル機材部門)

～目 本～

【事業環境】

工作機械の堅調さが続くと予想

▽さらなる海外売上高の増加を目指した大手製造会社向け海外進出のバックアップ
 ・前期海外売上高比率は49.5%(0.5pt上昇)。今期は50%超を目指す

▽部品・消耗品・サービス売上のさらなる拡大

売上高	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期予想
部品・修理・消耗品	67億円	85億円	93億円	100億円	146億円	131億円	137億円	150億円

▽重点商品の射出成形機(東洋機械金属)、鍛圧板金機械(コマツ産機)の市場拡大
 ・前期の国内取引実績は、射出成形機(東洋機械金属)は30%増、鍛圧板金機械(コマツ産機)は20%増。
 今期も前期並みの増加率を目指す

▽ロボットの更なる販売強化

・前期のロボットシステムの国内取引実績は87台。今期は150台を目指す

▽MM会商品の取扱いをさらに拡大(前期は新たにシステムインテグレータ 3社が加入)

取扱高	11/11期	12/11期	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期	18/11期予想
MM会商品	15億円	33億円	36億円	43億円	39億円	35億円	34億円	40億円

▽新市場、成長分野への取り組み

18/11期の営業戦略(建設機械部門)

～目 本～

【事業環境】

建築工事は底堅い

▽2020年へ向けての国内需要へ対応

コンクリートポンプ車の全国的販売展開

- ・前期の販売実績は、関西、関東、九州で計26台、5.2億円の売上高

▽輸入建設機械商品群の取扱い拡充

- ・Magni社(イタリア)と販売代理店契約締結、テレハンドラー(荷役車輛)の販売へ
- ・現代製ホイールショベルの前期販売実績は2台
- ・ドイツ製岩石掘削機アタッチメント(Erkat社)の前期販売実績5千万円

▽レンタル機の入替えによる収益UPを図る

一部、リースによる設備更新でコスト圧縮

トピックス

～2017年12月1日付で北九金物工具株式会社の子会社化～

《会社概要》

所在地：北九州市小倉北区清水1-1-6
 事業内容：機械工具及び付随する切工具関連
 の消耗品販売
 設立：1977年8月
 所有割合：異動前 0% ⇒ 異動後 100%

《子会社化の狙い》

～工具・消耗品の販売拡大～

1. 顧客基盤の拡充
2. 地域基盤の拡充
山口地域攻略の足掛かり
3. シナジー
当社ユーザー（九州北部自動車・部品メーカー）へのクロス販売
4. 2018年度決算より連結対象

《業績推移》

単位：百万円

決算期	2015年7月期	2016年7月期	2017年7月期
純資産	533	546	558
総資産	607	620	630
売上高	729	701	684
経常利益	24	18	15

配当政策

配当方針及び配当金の推移

配当につきましては、安定配当を基本方針とし、財務体質の強化を図りながら、利益に見合った配当を行っていく予定です。総還元性向は40%を目指します。
 (2017年11月期度総還元配当性向は43%)

1株当たり配当金及び配当性向の推移

	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期		18/11期 (予想)
					期初予想	18/1/15 修正予想	
中間配当	10円	12円	15円	15円	15円	17円	19円
期末配当	(※1) 3円 (記念2円)	14円	20円	(※2) 22円 (記念2円)	22円	23円	23円
年間配当	23円	26円	35円	37円	37円	40円	42円
配当性向	14.3%	14.6%	17.9%	34.9%	25.6%	27.7%	23.9%

(※1) 上場15周年記念配当2円を含む (※2) 創立70周年記念配当2円を含む

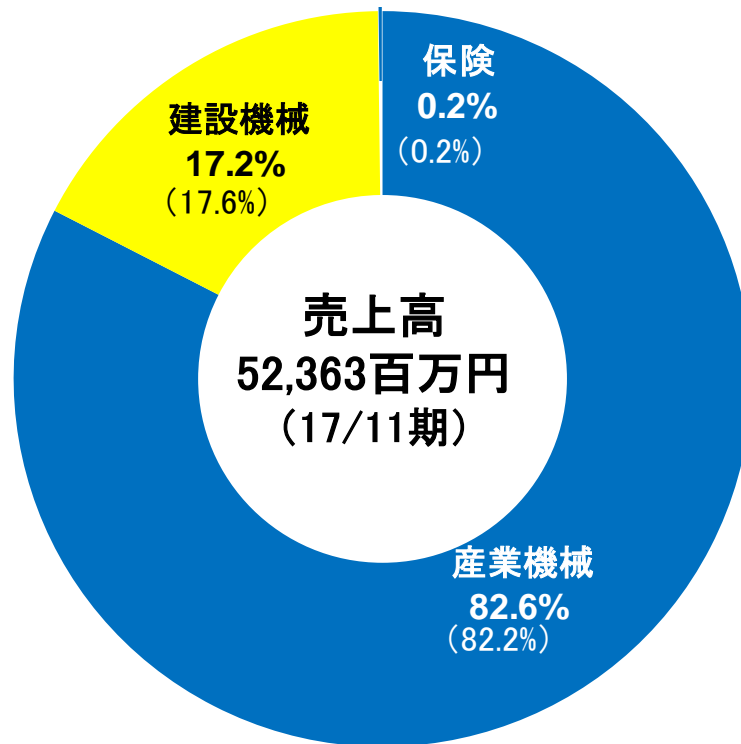
*2015年11月期に約4.5億円、2016年11月期に約1.8億円、2017年11月期に約1.9億円の自社株を取得

補足資料

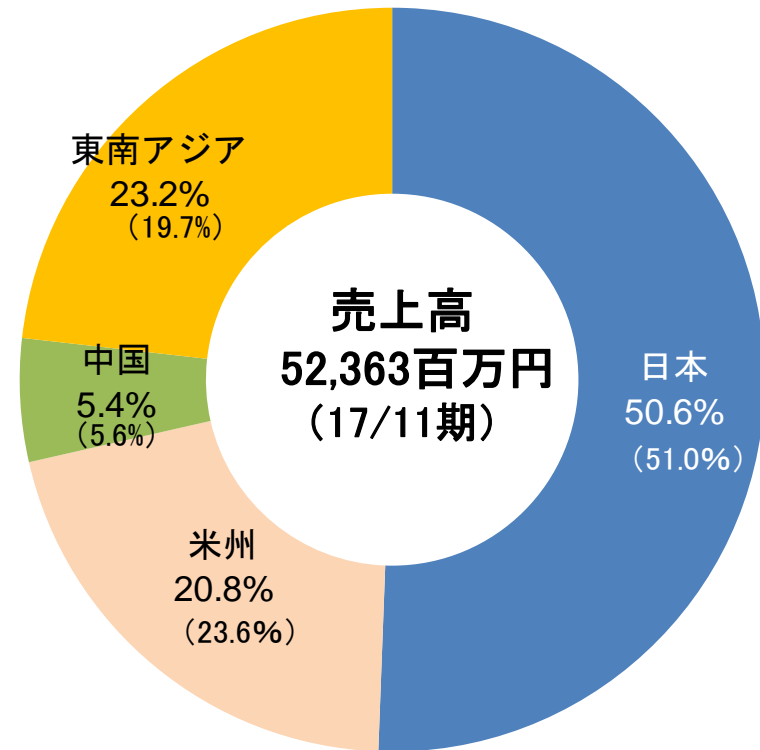
事業内容

日本・米国・中国・東南アジアで産業機械と建設機械の販売を行い、海外に進出する日系企業や現地企業との取引を拡大

部門別売上高構成



地域別売上高構成



※括弧内は16/11期売上高47,708百万円の構成比

※海外売上高には国内渡し海外仕向けを含む

産業機械部門 — 主な取扱い製品

生産工場の中で働く、物づくりに欠かすことのできない機械を販売

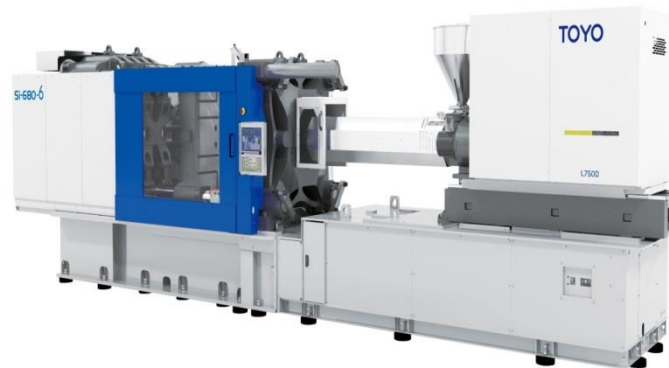
取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ 工作機械(東洋精機工業、村田機械、ジェイテクト、ツガミ、DMG森精機、OKK、ヤマザキマザック、牧野フライス、ファナック、中村留精密工業、高松機械製作所 等)
- ✓ 鍛圧機械(コマツ産機・ソノルカエンジニアリング)
- ✓ 射出成形機(東洋機械金属)



例①工作機械(マシニングセンタ)

金属を精密加工する機械です。自動車のエンジンや様々な部品を加工します。



例②プラスチック射出成形機

プラスチックの原料を溶かし、型に流し込み、圧力をかけて製品を作ります。CDや携帯電話等、プラスチック製品が作られます。



例③産業用多関節ロボット

ハンドリングロボットです。人間に代わり、製品の搬送溶接等を行います。

建設機械部門 — 主な取扱い製品

都市のインフラ整備に欠かすことのできない機械を販売・レンタル

取扱い製品と主要取引メーカー

- ✓ クレーン、ショベル(コベルコクレーン)
- ✓ 杭打機・圧入機(技研製作所)
- ✓ アースオーガー(三和機工)
- ✓ 発電機(デンヨー)
- ✓ 地盤改良機(ワイビーエム)



例①クローラクレーン

重量物の吊上や運搬を行います。



例②地盤改良機

住宅などの建築前に、地盤の改良を行います。



例③高所作業車

看板やディスプレイの取り付けの際に活躍します。

当社の強み① グローバルネットワーク1

国内に12か所、米州に11か所、中国に4か所、東南アジア・インドに9か所の営業拠点を配置し、グローバルなサービス体制を整備

米州



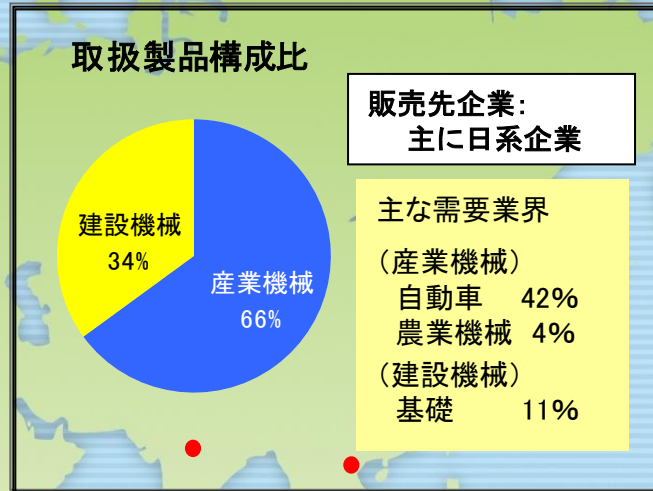
中国・東南アジア・インド



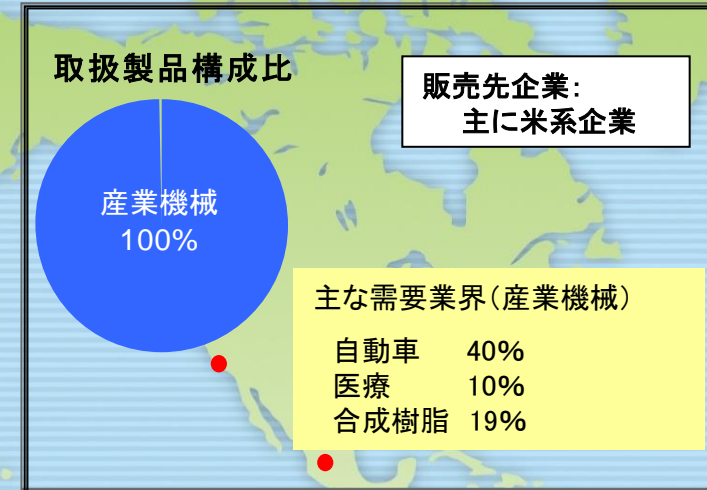
当社の強み① グローバルネットワーク2

日本・中国・東南アジアでは日系企業、北米では米系企業を主な販売先とし、世界4極で特徴のあるビジネススタイルを確立

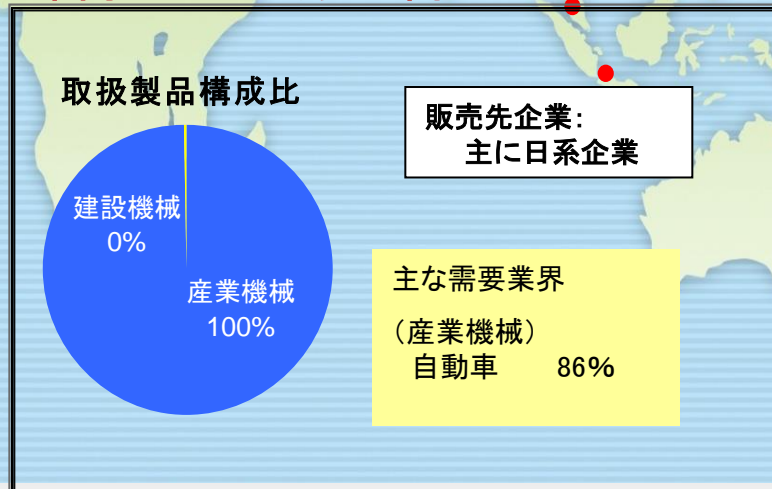
日本国内向け売上高



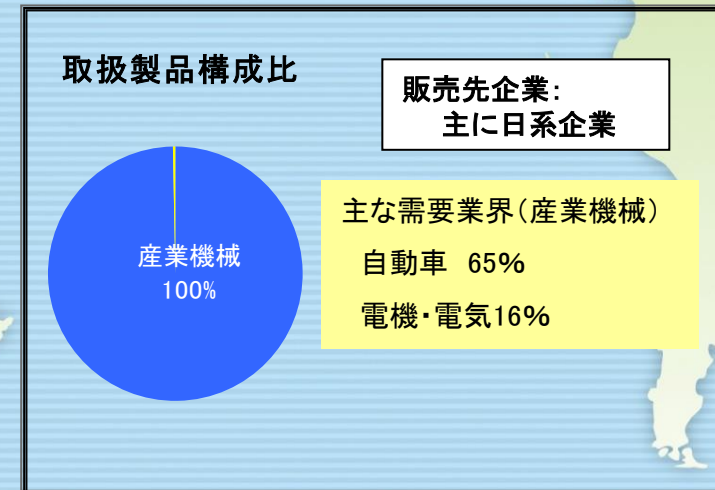
米州向け売上高



東南アジア向け売上高



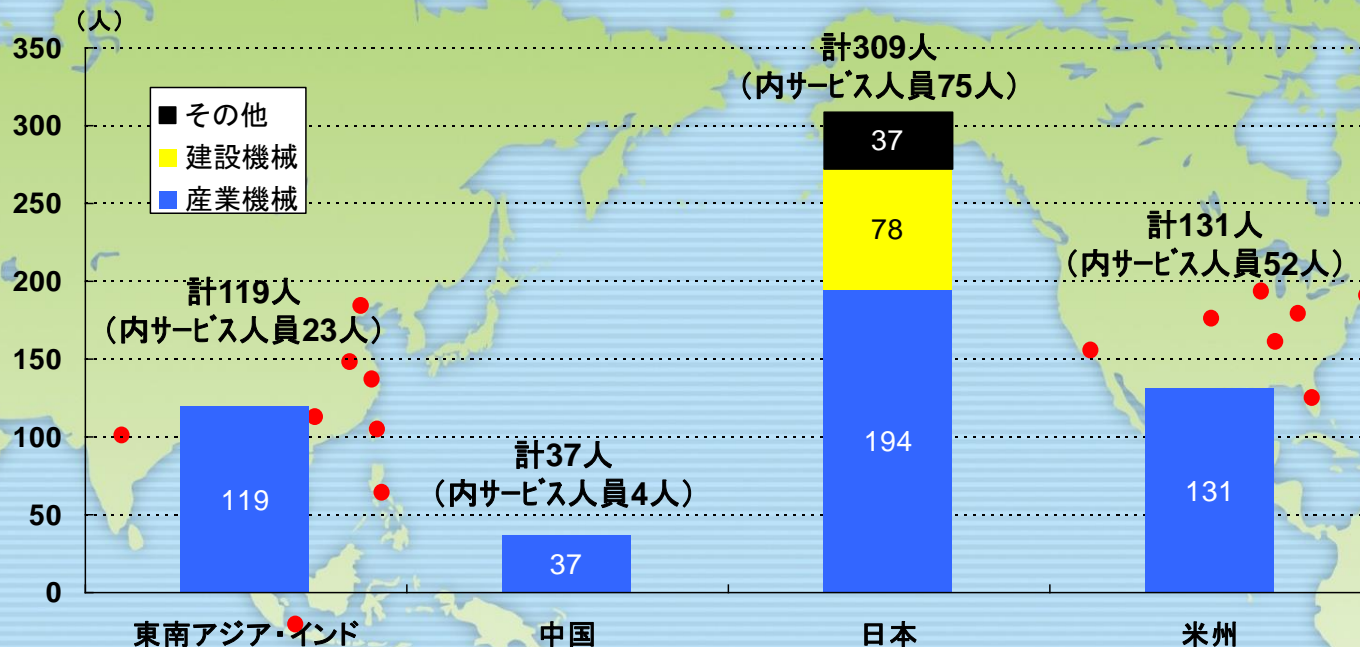
中国向け売上高



当社の強み① グローバルネットワーク3

- 世界4極に596人を配置し、機械の販売及び部品・消耗品・サービスの取扱いを拡大
- サービス人員の育成に注力し、全体の約1/4となる154人体制を構築

地域別の従業員数



全地域 合計	機械		合計 (その他含む)	内 サービス人員
	産業機械	建設機械		
	481人	78人	596人	154人

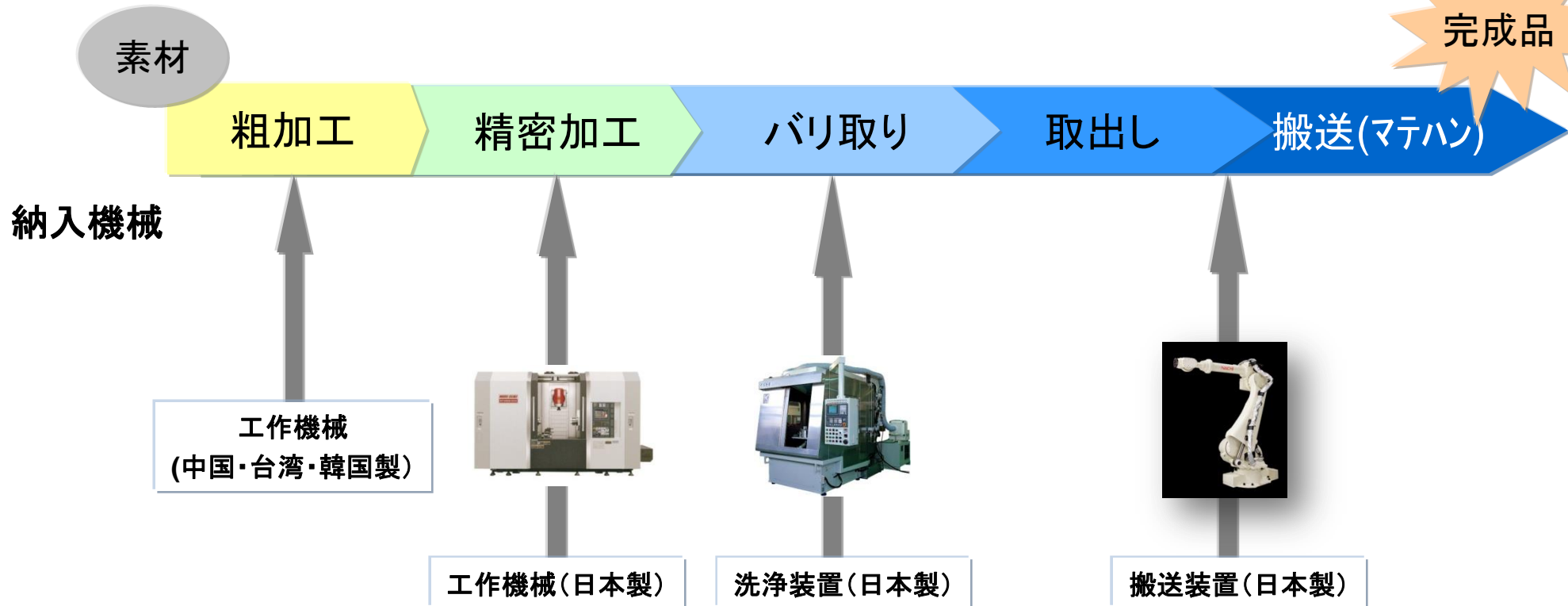
※ 2017年11月30日時点

当社の強み② 提案型システム営業

- お客様のニーズに合った、省力化省人化の工場システムを提案
ライン一括受注を目指し、付加価値の高いシステムを構築

《提案イメージ》

お客様の生産ライン



当社の強み② 提案型システム営業-MM会

MM(マルカ・メーカー)会

機械専門商社であるマルカキカイと専門分野で優秀な技術を有するメーカーが協力し、販売ならびに新商品の共同開発を目的として発足。「お客様のニーズ」と「メーカーの技術」それに「マルカの持つ情報・知識」この3者の密接な連携によるシステムの構築が、当社の提案型営業を支える柱の一つとなっています。

2017年11月末日現在の会員メーカー数は、23社となっています。

株 大 鑄	ショットブラストマシン、各種研掃材	大阪府高槻市
大 峰 工 業 株	チップコンベア、ノンタッチシステム	大阪市北区
株 光 栄 製 作 所	油圧プレス、誘導加熱システム	兵庫県宝塚市
先 生 精 機 株	プログラムレス自動面取機、3Dインラインチェッカー	静岡県清水市
株 コ ス モ テ ッ ク	プレス修理	名古屋市緑区
千 代 田 工 業 株	パイプベンダー、パイプ自動加工機	大阪市淀川区
株 ユ ー テ ッ ク	各種生産システムの設計製造、各種検査機の設計製造	大分県臼杵市
三 愛 エ コ シ ス テ ム	産業廃棄物適正処理システム・機器の設計製造販売	神奈川県厚木市
株 紀 和 マ シ ナ リ ー	工作機械の製造販売	三重県名張市
高 橋 金 属 株	各種非標準洗浄装置製造、電解イオン水生成装置製造	滋賀県長浜市
株 富 士 精 機 販 売	油圧単能盤・NC旋盤・単能盤NC旋盤をベースにした専用機・穴明専用機の設計製作、自社設備用の自動化、搬送装置検査装置等の販売	愛知県小牧市
株 大 進 工 業 研 究 所	自動ろう付機・ろう付補助材料の製造販売、耐蝕耐熱耐摩耗金属による盛金精密鑄造品加工	大阪市大正区

(次頁に続く)

ターケット・エンジニアリンク(株)	各種自動化設備の設計製造	京都市伏見区
電元社トーア(株)	各種抵抗溶接機・特殊専用機・治具・省力化機器の製造販売	神奈川県川崎市
(株)ワイエムジー	NC旋盤・マシニングセンター多数台連結ライン	愛知県豊橋市
(株)松井製作所	プラスチック成形用合理化機器システムの製造販売	東京都品川区
丸昭機械(株)	各種線材加工用機械・各種工作機械 専用治工具・省力自動機械・各種試験機・設計製作	大阪市平野区
(株)ハル技研研究所	金属工作機械製造	岡山県岡山市
(株)ニチゾウテック九州事業部	エンジニアリング、技術コンサルティング、メンテナンスの3つの事業領域を連携させた総合技術サービス	熊本県玉名郡
(株)テクノス	自動化システムの製作	群馬県伊勢崎市
(株)ユニ技研	部品供給装置、搬送装置、検査装置、計測装置など各種機械設計、製作	愛知県豊橋市
ソノルカエンジニアリンク(株)	コイルラインシステム、シャーライン、NCTランスファー設計製造販売	大阪府摂津市
(株)管製作所	CNC高圧洗浄機、専用工作機械	山形県天童市

タイMM会 11社

CHIYODA KOGYO	Tube Pipe Bender
COSMO	Repair for Press Machines
DENYO ASIA	Welding Cables Welders Servo Guns
EUREKA DESIGN	Washing Machine Leak Test Mechine
KANTO ENGINEERING	Maintenance for Idustry Machines

NISSEN KOHKI	Washing Machine
ROBOT SYSTEM	Palletizing Robot Welding Robot
SORIME	Design and Manufacture of Machine
TAKAHASHI METAL INDUSTRIES	Washing Machine Ionized Water Sysytem
THAI TAKIGAMI	Design Electric FA Sysytem
TOCHU	Shot Blasting Machines Horizontal Conveyor

業績推移と海外売上高比率

海外売上高比率を再び上昇基調へ

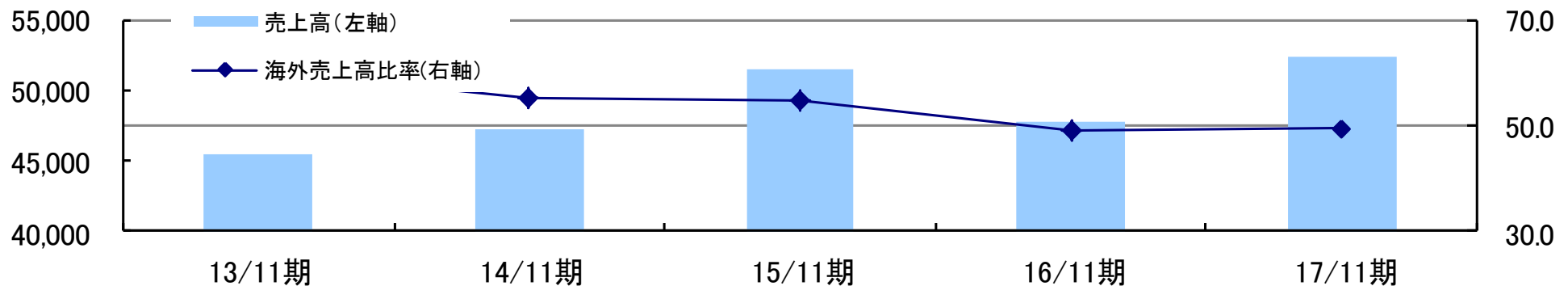
単位:百万円

	13/11期	14/11期	15/11期	16/11期	17/11期
売上高	45,434	47,257	51,593	47,708	52,363
海外売上高比率(%)	60.3	55.4	54.8	49.0	49.5
営業利益	2,193	2,290	2,335	1,657	1,894
経常利益	2,549	2,624	2,644	1,709	2,095
当期利益	1,458	1,613	1,730	929	1,235

※海外売上高には国内渡し海外仕向けを含む

売上高:百万円

海外売上高比率:%



海外売上高・商品別売上高(連結)

海外売上高(国内売り・海外仕向含む)

(単位:百万円)		16/11期	17/11期	前期比%
米	州	11,279	10,916	△ 3.2
中	国	2,680	2,840	6.0
ア ジ ア	タイ	1,995	2,770	38.8
	インドネシア	1,284	1,916	49.1
	マレーシア	4,725	5,403	14.4
	フィリピン	373	406	9.0
	インド	326	730	124.0
	ベトナム	637	833	30.7
	シンガポール	0	32	3,876.4
	韓国	30	55	84.4
	その他アジア	18	3	△ 79.9
	アジア計	9,393	12,153	29.4
その他	4	0	△ 83.8	
合計		23,357	25,910	10.9

商品別売上高

(単位:百万円)

		16/11期		17/11期		前期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
産 業 機 械	工作機械	13,022	27.3	14,646	28.0	12.5
	鍛圧機械	3,208	6.7	4,633	8.8	44.4
	射出成形機	5,895	12.4	5,093	9.7	△ 13.6
	ロボット物流機械	1,877	3.9	924	1.8	△ 50.7
	環境設備	2,198	4.6	2,805	5.4	27.6
	産業機械	3,810	8.0	4,501	8.6	18.1
	工具軸受油圧	1,979	4.2	2,122	4.1	7.2
	産機部品	4,211	8.8	5,005	9.6	18.9
	産機その他	2,997	6.3	3,497	6.7	16.7
	産業機械計	39,202	82.2	43,231	82.6	10.3
建 設 機 械	油圧ショベル	63	0.1	122	0.2	92.7
	建設用クレーン	3,723	7.8	3,195	6.1	△ 14.2
	基礎機械	1,479	3.1	2,341	4.5	58.2
	その他建機	570	1.2	581	1.1	△ 1.6
	中古機械	1,191	2.5	1,262	2.4	5.9
	建機レンタル	1,339	2.8	1,522	2.9	13.7
	環境設備	35	0.1	20	0.0	△ 41.3
	油圧ブレーカ	0	-	0	-	---
	建設機械計	8,403	17.6	9,026	17.2	7.4
	保険・その他	102	0.2	106	0.2	3.9
合計		47,708	100.0	52,363	100.0	9.8

業界別売上高(連結)

(単位:百万円)

業	産	16/11期		17/11期		前期比%
		売上高	構成%	売上高	構成%	
業	自動車二輪	24,202	50.7	27,554	52.6	13.8
	農業機械	1,009	2.1	1,151	2.2	14.1
	電気電機	1,392	2.9	1,305	2.5	△ 6.2
	建設機械	729	1.5	284	0.5	△ 61.0
	工作機械	1,118	2.3	950	1.8	△ 15.1
	その他機械製造	3,595	7.5	3,751	7.2	4.3
	精密医療機器	1,134	2.4	1,305	2.5	15.1
	IT関連	381	0.8	298	0.6	△ 21.9
	食料品	211	0.4	392	0.8	85.8
	鋼製家具	192	0.4	241	0.5	25.4
	合成樹脂	1,736	3.6	2,335	4.5	34.5
	プラント加工機	9.0	0.0	-	-	-
	機	繊維機械	24	0.1	35	0.1
防衛		210	0.4	256	0.5	22.0
エネルギー・化学		196	0.4	84	0.2	△ 57.1
住宅建材		19	0.0	20	0.0	8.5
リース		127	0.3	18	0.0	△ 85.9
商社		180	0.4	29	0.1	△ 83.6
造船		0	0.0	2	0.0	280.3
鉄道運輸		122	0.3	115	0.2	△ 5.6
航空機		398	0.8	347	0.7	△ 12.7
その他		2,218	4.9	2,759	5.1	24.6
機	計	39,202	82.2	43,231	82.6	10.3

(単位:百万円)

業	産	16/11期		17/11期		前期比%	
		売上高	構成%	売上高	構成%		
業	建設	ゼネコン業者	250	0.5	115	0.2	△ 53.9
	設	物流	519	1.1	624	1.2	20.2
	機	基礎	2,215	4.6	2,795	5.3	26.2
		チャーター	1,295	2.7	676	1.3	△ 47.7
		土木・建築	1,720	3.6	2,060	3.9	19.8
		商社	236	0.5	352	0.7	48.6
		レンタル	985	2.1	878	1.7	△ 10.8
	械	広告	234	0.5	230	0.4	△ 1.7
		その他	944	2.0	1,290	2.5	36.6
		建設機械計	8,403	17.6	9,026	17.2	7.4
		保険・その他	102	0.2	106	0.2	3.9
		合計	47,708	100.0	52,363	100.0	9.8

注意事項

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。